

平成21年3月2日

大野市教育理念の策定について

教育総務課

1 背景

親子の間での殺人事件や傷害事件、ささいな原因での殺傷事件など殺伐とした事件が後を絶ちません。こうしたニュースに代表されるように、今日、社会の規範意識の衰退や、家庭や地域の教育力の低下が問題視されています。

こうしたことから大野市では人づくりの根幹は教育であるという考えのもと、教育関係者をはじめ、各界、各層から多角的な意見を得て、市民に共感をもって受け入れられる「大野市教育理念」を策定することとしました。

この「大野市教育理念」は、将来にわたって学校や家庭、地域、行政が一体となって取り組んでいく指針をわかりやすく示すものです。大野市の教育全体を包括する概念で、取り組みの方向を示すキャッチフレーズであり、普遍のバックボーンとして位置づけています。

2 経緯

平成19年9月市議会において、市長が「今の大野市の教育行政に足りないものは大きな一本の芯となる普遍のバックボーンではないかと考える」と、教育行政の柱となる「教育の指針」を定める必要があるとの考え方を明らかにしたことから、平成20年度の教育委員会の新規事業として大野市としての教育理念を定めることになりました。

公募による2名を含めた策定委員12名による5回の策定委員会（委員長 福井大学教職大学院専攻長）、市民対象のアンケート、パブリックコメントを経て、11月20日、教育委員会に大野市教育理念（案）が示されました。

これを受けて、教育委員会においてさらに議論を深め、策定委員会がまとめた案の趣旨を損なわない範囲で文言等の修正を加え、決定しました。

3 理念の意図

8月に実施した市民対象のアンケートによると、多くの市民が、大野の自然や歴史といった固有の地域性、精神的なものを大切に感じている傾向が伺えました。また、委員から

も、時代の変化はあっても「将来にわたって変わることのない、大野らしい内容であるべき」「大野市民（出身者も含めて）の心のよりどころとなるものであってほしい」、「大野らしさを大切にしたい」という声が多くありました。

地域性と歴史（史実）から大野らしさをとらえるならば、幕末の大野藩の先進性は特筆されるものです。大野の人づくりと教育の面から過去を振り返ると、当時の大野藩主（土井利忠）の人材育成重視の姿勢と藩校明倫館の開設が大野の教育の礎を形作ったと言われています。

「明倫の心を重んじ」の「明倫」は、「明倫館」の名称ですが、由来は孟子の「皆人倫を明らかにする所以なり」という言葉で、この「倫」という字には、「人間同士のきちんと整理された関係」という意味があり、人として守り、自分の行うべき道を明らかにすることを指しています。

「育てよう ^{おおのびと}大野人」も、恵まれた大野固有の自然的、歴史的環境が活かされた、優しく、賢くて、たくましい人間性をもった大野（の）人（間）になってほしいという願いを込めて「おおのびと」と呼称しています。

4 今後について

今後、この教育理念をいかに市民や団体等に周知啓発していくかが重要です。小中学校や、公民館、文化会館、エキサイト広場等の公共施設に、プレートにして掲示するとともに、ステッカーを作成して普及に努めるほか、会合等のあらゆる機会を利用して啓発していきます。

学校現場でも道徳や郷土に関する学習などの時間を利用して周知していきます。

理念策定までの経過（太字は委員会等の開催）

- 平成19年9月市議会において、市長が「教育の指針」を定めたいと答弁
- 総務文教常任委員会協議会で教育委員会による今後の取組み予定について報告・説明

（平成20年5月9日（金））

- 策定委員会公募委員の募集

市ホームページ等で公募委員2人を募集

期間：平成20年5月9日（金）～5月26日（月） 応募者：5人

- 公募委員の選考会（平成20年5月30日（金））

公募委員として、寶居隆氏、荻野由香里氏が選考される。

○第1回策定委員会（平成20年6月23日（月））

各委員に委嘱状が交付され、委員長に寺岡英男氏（福井大学教職大学院専攻長 学識経験者）を、副委員長に阿部保子氏（大野市生涯学習推進会議副会長）を選出する。今後の日程、市民アンケートの内容について議論した。

- 市民アンケート実施（平成20年8月1日～8月31日）

市報に折り込む形で市民アンケートを実施した。

回答 67通

○第2回策定委員会（平成20年9月24日（水））

市民アンケートの結果を踏まえ、自由な意見交換の後、あるべき教育理念の姿について議論した。自分なりのイメージを形にしたものを次回委員会に提出することを確認した。

○第3回策定委員会（平成20年10月22日（水））

策定委員から提案された11の教育理念（案）を基に議論を重ねた。議論の時間が充分ではないということで、当初全4回の開催予定を1回増やすこととした。

○第4回策定委員会（平成20年11月4日（火））

これまでの議論を整理し、委員会として、大野市（らしさ）を全面に出すものと、特段そうはしていない一般的なもの2件をパブリックコメントにかける案とした。

●パブリックコメントの実施

期間：平成20年11月6日（木）～11月19日（水）

応募：1通

○第5回策定委員会の実施（平成20年11月22日（水））

パブリックコメントでの意見を参考に、委員会として推す案を最終決定した。なお、委員からの要望もあり、もう1案も併せて報告することとなった。

○11月定例教育委員会（平成20年11月28日（金））

策定委員会から提案された案を検討した。

○12月定例教育委員会（平成20年12月25日（金））

策定委員会から提案された案を更に検討した。

○1月定例教育委員会（平成21年1月23日（金））

教育委員会として教育理念を正式決定した。